

平成28年度社会教育施設アクションプラン（図書館）

- ◎地域情報拠点としての図書館の充実を図る
- ◎市民と共に歩み、市民と共につくる図書館運営をすすめ、市民要望に的確に応えて市民満足度の向上を図る

1 図書館事業の充実											
重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	区分	評価指標	現状値	28目標値	達成値			
1-1 魅力ある図書館づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 全年齢層へのサービスの充実を目指し、利用促進につながる事業を実施する。 本館開館時間延長を継続するとともに、西武分館と藤沢分館の開館時間延長を開始し学生や勤労者の夜間利用促進に努める。 分館の管理運営を指定管理による運営とし、民間のノウハウによりサービスの向上効率的な運営に努める。 図書館協議会の協力により、運営や事業に関する適正な評価を行い、市民に公表する。 	レファレンスサービスの充実	① 司書職員の質の向上と人数の増に努める 人事異動によって司書資格職員数を増やす(4月) 資格取得講習会受講により増やす	継続	司書職員数	26人	30人	28人			
		障害者等へのサービス	② 視覚障害者への録音資料を提供する 録音資料作成2～3点	継続	録音資料作成点数	3点	3点	3点			
		図書館ボランティアの育成と活動支援	③ 図書館ボランティアを新規募集する	新規	新規ボランティア数	—	20人	22人			
			④ ボランティア養成講座を開催し、ボランティアの育成に努める	新規	講座回数、参加者数	—	5回・20人	5回・48人			
			⑤ おはなし会等で「場」を提供し、育成のための研修会を実施する	継続	おはなし会回数	357回	360回	356回			
			⑥ おはなし会年間回数350回、夏、冬のおたのしみ会運営支援年1～2回	継続	おたのしみ会延べ回数	5回	5回	5回			
			⑦ 研修会の実施年1回	継続	研修会開催年1回	1回	1回	0回			
		利用促進事業の充実	内容 講演会、講座、事業の実施により、その後の利用促進につなげる								
			⑧ 人形劇の実施(11月 西武)	継続	参加者数	80人	80人	64人			
			⑨ 子ども読書推進のため「あれこれブックガイド」の配布	継続	配布箇所数	16箇所	16箇所	16箇所			
			⑩ 子ども読書推進のため「読書ラリー」の実施	継続	終了者数	39人	100人	71人			
			⑪ 文学講演会	新規	参加者数	—	100人	93人			
		本館、西武分館、藤沢分館開館時間延長と閲覧席開放事業の試行継続	内容 本館、西武分館、藤沢分館を 火～金、午後8時まで延長し、利用者数の増加に努める 本館閲覧席開放事業を継続し、利用増を図る								
			⑫ 夜間入館者数の増	継続	17時～20時の利用者数	209人	400人	407人			
⑬ 本館閲覧席開放事業利用者数の増	継続		席数/日	17席	20席	17席					
⑭ 入館者数の増	継続		年間入館者数	694,482人	720,000人	698,374人					
視聴覚ライブラリーの活用	⑮ ウィークエンドシネマ等による映画鑑賞機会を提供する ウィークエンドシネマ上映24回、こども映画会4回を実施する	継続	年間上映回数	27回	28回	28回					
分館指定管理によるサービス向上と効率的な運営	⑯ 年2回モニタリングにより運営状況を監査する	新規	回数、評価内容	—	2回	2回					
運営や事業に関する適正な評価と公表	⑰ アクションプランに基づく自己評価を行い、その後外部評価として図書館協議会による評価を行ったあと市民に公表する	継続	評価の実施と公表	実施・公表	実施・公表	実施					
1-2 図書館資料の充実	<ul style="list-style-type: none"> 予算の適正な執行により、資料の刷新を図って、市民満足度を高めることにより、市民一人当たりの資料点数5点や年間貸出点数100万点達成を目指す。 	図書館資料の充実	① 市民一人当たりの資料点数の充実	継続	市民1人当たり5点	3.78点	3.90点	3.80点			
			② 貸出点数の増加	継続	貸出点数1,000,000点	963,865点	1,000,000点	897,367点			
		子ども向け資料の充実	③ 子どもの読書推進のため、絵本、紙芝居を含む児童図書の実施を図る	継続	年間購入数	2,722点	2,750点	2,613点			
		市民の関心が高い分野の資料の充実	④ 市民要望や市民の関心が高い健康・福祉・環境・経済問題等の資料の充実を図る	継続	年間購入数	7,118点	7,000点	7,713点			
		参考図書の整備	⑤ 年度更新する資料や高価な参考図書資料の購入に努める	継続	年間購入数	154点	200点	294点			
		大活字本の整備	⑥ 視力の弱い方、高齢者向けに大活字本を購入する	継続	年間購入数	117点	100点	106点			
		NPO雑誌寄贈サポート	⑦ NPOの仲介により、市内企業6社から雑誌39種の寄贈を受ける	継続	年間寄贈雑誌種数	39	39	40			
1-3 学校等と連携した読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動や読書活動の支援や学校図書館ボランティアを支援し、学校等との連携を強化する。 市内連携を図り、親子に読書活動のきっかけづくりを行い、市民生活の中での「読書活動」の重要性を伝えるように努力する。 ボランティア団体と協力して利用促進につながる事業を実施するとともに、ボランティア団体の育成、支援の場とする。 	学校との連携・協力	内容 学習活動や読書活動の支援や学校図書館ボランティアを支援する								
			① 図書館見学の実施(市内小学3年生 5月～11月)	継続	参加校数、参加者数	15校・1,208人	16校	15校・1,196人			
			② 利用教室の実施(市内小学2年生 5月～9月)	継続	参加校数、参加者数	16校・1,283人	16校	15校・1,189人			
			③ 中学生社会体験チャレンジ事業の実施	継続	受入れ学校数	10校	11校	11校・42人			
			④ プチー日図書館員(7月)	継続	開催回数・参加者数	8回・90人	8回・100人	8回・94人			
			⑤ 学校図書館ボランティア研修会(6月・7月)	継続	開催回数・参加者数	1回・58人	各回80人	2回・56人			
			⑥ 移動図書館の学校定期巡回(毎週1回)	継続	学校数	8校	8校	8校			
			⑦ 配本サービス(保育所、学童保育室、学校他)	新規	箇所数	30箇所	35箇所	31箇所			
			市民団体・他の機関との連携・協力	⑧ 市内各課と協力した事業の実施(広報広聴課、生涯学習課他)	継続	協力の有無及び箇所数	5箇所	5箇所	5箇所		
				⑨ ブックスタート事業(健康福祉センター BCG接種時)年12回	継続	年間実施回数	12回	12回	12回		
		⑩ 全庁的な子育て支援策としてのブックスタート事業の調査研究及び市内連携調整会議の開催		新規	会議開催実績	0回	2回	0回			
		内容 市民団体との協力による事業実施									
			⑪ おとなのための朗読会(11月 西武分館 共催:小函の会)	継続	年間実施回数・人数	1回・58人	1回・60人	1回・53人			
			⑫ 古典朗読会 年間10回以上定員10名程度(藤沢分館 共催:古典の会)	継続	年間実施回数	11回	10回	12回・123人			
	⑬ 工作教室(夏休み・共催:子どもと本をつなぐ会)	継続	実施回数・人数	1回・29人	1回・50人	1回・28人					
	⑭ とよかずひこ講演会(共催:子どもと本をつなぐ会他)	新規	実施回数・人数	—	1回・80人	1回・60人					
2 図書館施設の充実											

重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	区分	評価指標	現状値	28目標値	達成値
2-1 図書館網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ダイア4市の利用促進につながる広域サービス利用者数の増加を目指す。 西部地域まちづくり協議会図書館部会会議を開催し、情報交換に努め、公平、平等な広域サービスの提供に努める。 既存施設の有効活用を図って、移動図書館に代わる分室整備を進め、市民サービスの向上に努める。 青梅市との相互利用の促進に努める。 次期図書館システム選定に関する調査研究とシステム導入業者選定委員会での協議する。 	図書館情報ネットワークシステムの活用	① システムの安定的活用	継続	システムダウン回数	0回	0回	0回
		ダイア4市等の相互利用	② 相互利用促進	継続	相互利用者数5%増	42,178件	44,287件	40,270件
			③ 西部地域まちづくり協議会図書館部会会議の開催と情報交換に努める	継続	年間会議開催回数	3回	3回	3回
			④ 青梅市との相互利用促進	新規	相互利用者数	28人	100人	227人
			⑤ 分室網の整備方法の研究と関係各課との協議	継続	協議回数	—	2回	0回
		分室網の整備	⑥ 次期システム更新時に最適なシステム導入のため事前研究をすすめ、業者の選定を行い、システム開発の準備を進める	新規	進展状況	—	達成	達成
次期図書館システム選定の調査研究とシステム導入業者選定委員会での協議	新規	業者選定		—	決定	決定		
2-2 図書館施設の計画的な整備	<ul style="list-style-type: none"> 設備や内装の計画的な改修等を行い、快適な読書環境を確保し、市民満足度を向上させる。 	本館備品整備	① 本館雑誌架を1台購入	新規	購入数	—	1台	1台
		その他の館内設備の充実	② 西武分館のテーブルと椅子の配置換え 金子分館の椅子・展示用パネル・作業台の購入 藤沢のカウンターレイアウト変更	継続	実施	—	実施	実施

3 情報提供サービスの充実

重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	区分	評価指標	現状値	28目標値	達成値
3-1 ホームページの活用		ホームページの活用	① ホームページメンテナンスを毎月実施する	継続	メンテナンス実施回数	6回	12回	7回
			② パスワード登録者数	新規	新規パスワード登録者数	1,334人	2,000人	2,741人
3-2 広報紙等の活用	<ul style="list-style-type: none"> 地域情報や行政情報の収集発信、図書館情報の提供に努め、ホームページ等の充実により、地域情報拠点施設としての役割を果たし、施設の意義を高める。 	広報いるま等での情報提供	① 毎月1日号に図書館関連記事を掲載する	継続	年間掲載月数	12回	12回	12回
			② 図書館関連の特集記事を年1回以上掲載する	継続	年間掲載回数	2回	1回	1回
			③ 図書館だよりの発行	継続	年間発行回数	4回	4回	4回
			④ 金子分館だよりの回覧配布(11月から)	新規	年間発行回数	—	5回	5回
3-3 各種メディアの活用	<ul style="list-style-type: none"> 各種メディア、広報紙等により地域情報や図書館情報を迅速かつ正確に提供することに努める。 	各種メディアを活用した情報の提供	内容 FM茶笛や入間ケーブルテレビへの出演による情報提供に努める					
			① FM茶笛「本のあるくらし」に週1回出演	継続	年間出演回数	52回	52回	50回
			② 入間ケーブルテレビへの出演	継続	年間出演回数	7回	8回	6回
3-4 自動音声応答システムによる情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> デジタルデバйд解消のため電話により情報弱者への情報提供に努める。 	自動音声応答システムでの情報提供	① インターネット環境未整備の市民のため情報格差を生じないように、自動音声応答システムで情報提供やサービス提供を行い、自動音声応答システムの利用促進を図る	継続	年間利用件数	6,519件	7,700件	4,497件
3-5 インターネット接続端末の活用	<ul style="list-style-type: none"> 有料データベースを整備し、市民に必要な電子情報の提供に努める。 	インターネット接続端末の活用	① インターネット接続端末に新聞記事データベースを整備し、利用促進を図る	継続	年間利用件数	8,400件	9,400件	8,521件